

# 編集後記

記憶にないほど暑かった夏が過ぎました。彼岸の声を聴けば流石に過ごしやすくなるのでは……と期待していましたがまだまだ残暑は厳しく、それなのにインフルエンザや新型コロナの感染と予防接種にバタバタする季節感の無さです。まあ社会情勢に振り回されるより自然環境に抗えないほうが人間の営みらしくはあるでしょうか。

誌上ギャラリーには有馬先生からアジア最大級クルーズ船の偉容をお寄せいただきました。巨大なビルが海に行く様が目に浮かびます。

論説と話題は第67回九州ブロック学校保健・学校医大会のご報告と岡山で開催された第30回全国医師会共同利用施設総会の概要です。前者では性的マイノリティやコロナ禍での精神保健に関する講演が興味を惹きました。また、新型コロナウイルス感染症の会員施設への影響を把握するために実施した経営状況に関するアンケートについて米盛先生からご報告いただいています。

医療トピックスは市医師会病院薬剤部からのくすり一口メモです。新型コロナウイルス感染症の治療薬には市井の開業医が簡単に処方できないものもありますが、知識は得ておかなくてはなりません。

学術は今村総合病院スポーツ整形外科から柔道選手に生じたハムストリング肉離れ（総腱断裂）に対して観血的治療を施行した症例の報告です。競技レベルのアスリートにおいては受傷直後の症状が強い場合、早期MRI診断と早期手術が望ましいと述べられています。

今月の医師会病院だよりは緩和ケア科の馬見塚先生から同科のご紹介をお寄せいただきました。救急対応も可能な、市内唯一の公的病院緩和ケア科のことです。また、診療放射線室から小児股関節撮影時の生殖腺遮へいに関する考察がありました。対応は難しいようですね。引き続き同院への患者ご紹介をお願い致します。

随筆・その他の長期連載「切手が語る医学」は最終回を迎えました。薬物乱用反対、薬

物乱用防止運動、エイズ撲滅の切手図案です。古庄先生、長い間本当にありがとうございました。

栗先生の長編随筆「音楽の散歩道」ではオペラを楽しむための歴史的背景の数々に圧倒されます。小田原先生からは医療事故調査制度の現況と責任追及への悪用の動きを詳細に解説していただきました。リレー随筆は鹿児島大学病院研修医の前田先生が卒業旅行のNew York一人旅について生き生きと綴っておられます。若い頃を思い出された先生方も多かったです。皆様ご寄稿ありがとうございます。

区・支部だよりは4年ぶりに開催された第40回鹿児島市東区医療三師会の模様です。もっと多くの会をご紹介できる日が早く来ることを願っています。

各種部会だよりには第1回市在宅医会事例検討会の模様をお寄せいただきました。

各種報告は理事会概要、委員会開催状況、医療事故調査制度研修会の模様です。小田原先生のご寄稿と合わせてご一読ください。

附属施設だよりと利用・受診状況、会員異動など当会の動きも掲載されています。

鹿市医郷壇のお題は「気温（はだもつ）」です。きおん、としか読めない似而非地元にも樋口先生の選評から郷土の暮らしが伝わってきます。まずは一句ひねってみては如何でしょうか、愛のある添削をいただけるはずです。

秋だ秋だと言わなければ季節を忘れてしまいそうですが、コロナ疲れに負けぬよう心にも身体にも栄養を施してアタマにも刺激を与えつつ頑張りたいものです。スポーツの方も51年ぶりのかごしま国体・かごしま大会が長い準備期間を経てようやく今月開催されます。事故なく盛り上がるイベントになりますように。熱い鼓動、風は南から！

（編集委員 關根さおり）